

▶ 誓いの言葉を述べる山田智苗美さん（中央）と藤原知奈美さん（左）



▲友人との再会に「元気にしてた!？」

社会づくりに貢献できる大人に — 平成22年南丹市成人式 —

1月10日、南丹市立園部公民館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行了しました。スーツ、羽織はかまや振り袖姿の新成人330人が出席し、小・中学校時代の恩師や多くの来賓が若者の輝かしい前途を祝福しました。

今年の成人式対象者は、平成元年4月2日から平成22年4月1日生まれの市内在住者448人（園部252人、八木86人、日吉60人、美山50人）で、市内の小・中学校を卒業した方などで出席を希望される方々も対象としました。

式典で佐々木市長は新成人に対し、「未来の社会は皆さんのような若い世代が築きあげるものです。ふるさと南丹市に誇りと愛着を持ち、積極的にまちづくりに参加していただき、新しい時代の南丹市を共に築きましょう」と述べました。そして出席した新成人全員に、成人式実行委員が選んだ折りたたみ傘を南丹市からの記念品として贈り、大林直人さんが代表して壇上で受け取られました。

そして、新成人を代表して山田智苗美さんと藤原知奈美さんが「成人したことにより生まれる社会の責任で、身の引き締まる思いです。今まで支えていただいた方々への感謝を忘れず、私たち一人一人が新たな担い手として社会づくりに貢献できる大人になりたいです」と、誓いの言葉を述べられました。

式典終了後は記念撮影を行い、人生の節目にきらめく姿を写真に収めました。地域ごとに分かれて行われた懇談会では、久しぶりに会う友人や恩師と近況を報告したり、写真を撮ったりして、会場いっばいに笑顔が溢れていました。



▶ 懐かしい先生方や友人との再会にカシャ!

